

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

医学部 医学科

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないように注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

- 1 以下の文章を読んで あとの問いに答えなさい。

非公開

(日本経済新聞 2012年コラム欄 山本 兼一 著 ”頭が下がった話“ 抜粋)

問 上記の文章を参考にして、“あなたが目指す理想の医師像”について800文字以上、1000文字以内で述べなさい。

なお、文章中に以下の、

- ① 医師の使命 ② 医師の職業倫理 ③ 地域医療貢献 ④ 医師の専門性
 - ⑤ 医師の偏在 ⑥ 沖縄県が直面している医療上の問題点
- 6つのキーワードをすべて使って記述すること。

2 女性医師の就労に影響を与える因子の検討を行った論文の一部です。下記の文章を読んで以下の各問に答えなさい。

非公開

(Japanese journal of public health, 58(6):433-445, 2011.より抜粋, 一部改変)

【注釈】

- *¹ sex-based inequalities: 性差に伴う就労上の不平等あるいは不利益
- *² a private university-affiliated school of medicine: 私立大学医学部同窓会員
- *³ logistic regression analyses: ロジスティック回帰分析

問1 この文章を読んで、女性医師の就労を妨げている主な要因は何か、その背景にあるものは何かをあなたの考えを含めて100字以上、400字以内で日本語にて答えなさい。

問2 女性医師の就労を妨げている要因に対し、どのような対策あるいは対応をしたら良いか、あなたの考えを100字以上、400字以内で日本語にて答えなさい。

問3 将来あなたが実践しようとしている離島・地域医療の立場から、医師不足や医師の偏在に対してどのような意見を持っているか、あなたの考えを100字以上、400字以内で日本語にて答えなさい。

平成27年度入学試験問題（推薦入試Ⅱ）

小論文

医学部 医学科

1

出題の意図

推薦入試アドミッションポリシーの項目として、地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人が挙げられている。沖縄県の医療の現状に対する認識の程度、および、理想とする医師像、を文章で論理的に表現する能力を問うことにより適格者の選抜に資することが出来る。

2

問1～3の出題の意図の総括

琉球大学医学部医学科の推薦入試（地域枠）のアドミッション・ポリシーには4つのことが掲げられています。すなわち、1）地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人、2）自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人、3）学習意欲の維持ができる人、4）自己学習ができる人、です。

いずれの設問も、受験者が地域医療に貢献するために自己の立場を明確にし、問題意識・自己啓発が行える資質を有しているかを問い、優秀な医学生を選抜することを目指しています。

問1

途方のある地域によっては医師不足、専門医の偏在など課題が多い。女性医師が本来の医師としての使命、役割を全うするためには、女性医師への理解が必要と思われる。この設問では受験者の女性医師の就労に対する認識を短い文章で的確に表現する能力を問う。

問2

与えられた課題についてどのような対応を行うか、それを通して地域医療への日頃の関心と想像力を問う。

問3

今回の推薦入学Ⅱ地域枠選抜試験のアドミッション・ポリシーには「地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持ち」、「自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人」と謳われています。

この設問では離島や地域医療の医師の不足・医師の偏在に関わる問題点を女性医師の観点から取り上げ、このことを理解したうえで受験者に将来離島での医療すなわち「社会的・地域的立場」を認識しているかどうかを問うています。